

成田市自然観察会

冬鳥の観察

谷 優(成田市)

日 時：2024年12月14日（土）9時30分～12時 天候：晴れ

場 所：坂田ヶ池総合公園（成田市）

参加者：12名（大人11名、子ども1名）、成田市環境課職員2名

担当指導員：坂本、宮本、宮崎、菅澤、谷

12月らしい寒さの自然観察会、これまで比較的暖かかったので余計に寒さが身にします。坂田ヶ池に目をやると、例年になく冬鳥が少ない。観察会はどうなるか、不安を感じながらスタートです。

それでもカルガモ、オオバンはいます。カルガモについて宮崎さんが説明しました。カルガモの名前の由来、何を食べているか、写真を見せてオスとメスはどちらかなど。谷はオオバンの特徴である水かきをカモの水かきと比較して説明しました。

参加者から、昨日ミコアイサがいたという話が出て、俄然期待が高まります。カワセミの鳴き声が聞こえたタイミングで、菅澤さんがカワセミについて話しました。池のほとりに立つ東屋に行くと、泥にたくさんの足跡があります。「オオバンか？カモか？」みんなで話し合いました。そして、いよいよ池の上の浮橋へ。コガモ、ハシビロガモ、オナガガモなどが人を恐れず泳いでいます。遠くの方を見ると、いましたミコアイサが！この池のスーパースター？の登場に一同大喜び。時折水に潜りながら、オスとメスが何度も姿を見せてくれました。

対岸の林の中の道を進むと木の枝にとまるカワウがいました。そして、トモエガモもいました。相次ぐ人気者の登場に大喜び。丘の上の広場には鳥の姿は見られなかつたものの、とっておきの見せ場が。下見の時に見つけたモズのはや贊です。バッタ（ツチイナゴ？）がブルーベリーの枝に刺さっていました。宮本さんがモズのはや贊について説明しました。このはや贊を他のモズが取ってしまうことがあるか？話し合いの結果は、モズは縄張りがあるので取らないだろうということになりました。最後のふり返りは、暖かい学習室で「鳥合わせ」などをゆったりと行いました。

○参加者の感想

- ・普段、散歩している公園だが、たくさんのカモの種類がわかってよかったです。
- ・観察会は2度目の参加です。日によって来るカモの種類が違うと思った。
- ・鳥目って何ですか。



泥の足跡は何の鳥？



ミコアイサが見えた！



ミコアイサ



モズのはや贊